

次期熱海市観光基本計画 指標及び目標値（案）

分野	指標	目標値	
目指すべき姿 (KGI)	旅行需要の平準化率 (繁忙月と閑散月の比率の改善)	70%	<p>繁忙月 と 閑散月 の宿泊客数の差 ※ 基準年(2025年度) 2025.08：353,963人 2025.06：212,376人 (6月宿泊客数)÷(8月宿泊客数)=60.0%</p> <p>※ 宿泊客数推計(2030年度) 2030.08：351,643人 2030.05：241,426人 (5月宿泊客数)÷(8月宿泊客数)=68.7%</p>
	【サブ指標】 宿泊客数(宿泊税ベース)	360万人	<p>宿泊税ベースの宿泊客数 ※ 基準年(2025年度) 2025年度見込み：3,443,520人(R8.1現在)</p> <p>※ 宿泊客数推計(2030年度) 2030年度推計：3,552,296人</p>
	地域ブランド調査 魅力度ランキング	10位以内	※ 2025年 13位(過去最高 11位(2020年))
分野	指標	目標値	
V(訪問者)	訪問者による推奨度 (体験価値の総合評価指標)	50% ※ 初年度調査により現状 値を把握したうえで、推 奨者割合50%程度を一 つのベンチマークとして、 中期的な改善を図る。	<p>「宿泊客」、「日帰り客」へのアンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設問：「今回の熱海旅行を、家族、友人・知人に勧めたいと思いますか。」 ・ 回答尺度：11段階(0～10) 0=まったく勧めない/10=ぜひ勧めたい ・ 推奨者割合：9～10点の割合
	【サブ指標】 リピーター率 (継続的来訪行動指標)	65% ※ 新規来訪者の確保との バランスを踏まえ、全体 としては75%程度を維 持する。	<p>3年以内に来訪した人の割合</p> <p>※ 基準年(2024年度アンケート調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リピーター率：75.8% ・ うち前回訪問3年以内：56.6%

次期熱海市観光基本計画 指標及び目標値（案）

分野	指標	目標値	
I(産業)	観光消費に伴う市内経済波及効果	1,500億円	「宿泊客」、「日帰り客」へのアンケート調査 ※ 基準年(2024年度アンケート調査) ・ 宿泊客消費単価：31,853円 ・ 日帰り客消費単価：9,311円 ・ 総消費額：1,120億7,183万円 ・ 市内経済波及効果：1,217億3,900万円
	【サブ指標】 宿泊・飲食業の域内調達率	50%超	「事業者」へのアンケート調査 ※ 基準年(2024年度アンケート調査) ・ 支払先別支出額の市内割合：48.2%
C(地域)	市民(別荘所有者)による推奨度	30% ※ 来訪者数の増加に伴う混雑や生活影響を受けやすく、観光客の推奨度とは必ずしも同水準で推移しない指標である。	「市民」、「別荘所有者」アンケート調査 設問：「観光地としての熱海への来訪を家族、知人友人等にお勧めしますか。」 回答尺度：11段階(0～10) 0=まったく勧めない/10=ぜひ勧めたい 推奨者割合：9～10点の割合
	【サブ指標】 観光による地域貢献実感度	55%～60%	設問：「観光振興は、雇用・地域経済・まちの魅力向上などを通じて、地域に貢献していると思いますか。」 回答尺度：5段階評価 指標：「そう思う」、「ややそう思う」の割合

次期熱海市観光基本計画 指標及び目標値（案）

分野	指標	目標値	
E(環境)	宿泊客1人1泊当りCO ₂ 排出量 (カーボンフットプリント指標)	基準値比▲10～15% 削減	観光庁が提供する「CO ₂ 排出測定モデル」を使用 ※ 初年度：基準値(ベースライン)の把握 ※ 2030年度：基準値比▲10～15%削減
	市民(訪問者)による景観満足度	基準値水準の維持	「市民」、「訪問者」へのアンケート 設問：「熱海の景観(海・山・街並み)について満足していますか。」 回答尺度：5段階評価 指標：「満足している」、「やや満足している」の割合 ※ 初年度：基準値(ベースライン)の把握
R(レジリエンス)	観光関連事業者のBCP整備率	70% 以上 ※ 簡易BCP含む	観光関連事業者によるBCP策定・演習の実施。 ※ BCP策定は、「緊急連絡体制」「代替調達・代替要員」「初動対応手順」を満たせば整備とする等、「独自基準を設定」。 ※ 初年度：基準値(ベースライン)の把握
	防災情報の多言語化整備率	90% 以上	防災情報の多言語化整備率：日本語で作成・配布されている防災関連資料のうち、外国人旅行者等が理解・利用できる形で多言語化され、配布・閲覧方法が整理されているものの割合 ※ 初年度：基準値(ベースライン)の把握
	南関東以外の宿泊客の割合 (宿泊客市場構成の分散度)	40% 以上	宿泊客の居住地のうち南関東(東京・神奈川・埼玉・千葉)の主力市場を除く割合 ※ 基準年(2024アンケート調査) 宿泊客のうち南関東居住者割合：71.5%